



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
 コード番号 3945 URL <http://www.superbag.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 福田吉弘
 (氏名) 吉田精一

TEL 04-2938-1244

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	26,009	△0.1	146	△72.8	130	△73.9	△32	—
23年3月期第3四半期	26,048	△3.3	536	△21.2	500	△23.4	280	△20.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △38百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 210百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△2.14	—
23年3月期第3四半期	18.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,477	3,320	16.6
23年3月期	17,386	3,466	19.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,240百万円 23年3月期 3,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	6.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,300	△0.1	200	△58.3	200	△55.5	50	△79.8	3.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	16,861,544 株	23年3月期	16,861,544 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,541,953 株	23年3月期	1,418,648 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	15,348,194 株	23年3月期3Q	15,445,855 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災直後の落ち込みから持ち直しの傾向が見られたものの、電力の供給制約や原発事故対応の長期化、欧州の債務問題などを背景とした円高の長期化や株価低迷などから先行き不透明な状況が続きました。当社グループを取り巻く経営環境も、個人消費には一部に回復の兆しが見られたものの、原材料市況の上昇傾向などから、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、安定した収益の確保に向け、引き続き需要の開拓と徹底したコスト削減による「売上と利益の確保」、「品質および生産効率の向上」などの課題に重点的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,009百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益146百万円(前年同四半期比72.8%減)、経常利益130百万円(前年同四半期比73.9%減)となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損84百万円を特別損失に計上したことに加えて、平成23年12月2日付けで公布された「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、平成24年4月1日以後に開始する事業年度より法人税率が変更されることになり、当第3四半期連結貸借対照表に計上される繰延税金資産・繰延税金負債を計算する際の法定実効税率が変更されることに伴い法人税等調整額が33百万円増加したことから、四半期純損失32百万円(前年同四半期は四半期純利益280百万円)の計上となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント利益(営業利益)は、8ページ「セグメント情報等」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用668百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、主力の紙袋の販売数量の減少により、売上高は前年同四半期に比べ222百万円減少して9,618百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は製造固定費の上昇に伴う生産利益の減少などによる粗利益の減少を経費削減で補えず、前年同四半期に比べ208百万円減少して490百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、主力のレジ袋の販売数量の増加により、売上高は前年同四半期に比べ153百万円増加して9,821百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は原材料価格及び仕入価格の上昇に見合った売価修正ができず、前年同四半期に比べ174百万円減少して204百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S(スーパーバッグ・ベンダー・システム)を主たる事業として展開しておりますが、主要なお客様である大手小売業界における経費削減が継続している影響があるものの、新規市場の開拓に努め、売上高は前年同四半期に比べ30百万円増加して6,569百万円となりました。セグメント利益(営業利益)は粗利益の減少を仕入商品の利益率改善や販売管理費の削減で補い、前年同四半期に比べ微増して120百万円(前年同四半期は119百万円)となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,090百万円増加して19,477百万円となりました。流動資産は、期間末日が休日であったこともあり受取手形及び売掛金が2,294百万円増加、たな卸資産が243百万円増加、未収入金が185百万円増加した一方、現金及び預金が390百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,279百万円増加の13,740百万円となりました。固定資産は、設備投資により有形固定資産が245百万円増加した一方、有形固定資産の減価償却費291百万円、無形固定資産の減価償却費82百万円により減少、繰延税金資産が48百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ188百万円減少の5,737百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,237百万円増加して16,157百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,396百万円増加、短期借入金及び長期借入金が928百万円増加した一方、設備関係支払手形が135百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ146百万円減少して3,320百万円となりました。これは、剰余金の配当で92百万円減少、四半期純損失計上により32百万円減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の19.4%から16.6%になりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、電力の供給問題や円高・株安、欧州の債務問題など景気の先行きは依然として不透明であり、当社を取り巻く経営環境も、原材料価格の上昇などから厳しい状況が続くものと思われま

す。平成24年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成23年10月21日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,631,659	1,241,629
受取手形及び売掛金	6,401,231	8,696,125
商品及び製品	2,158,514	2,363,885
仕掛品	353,546	350,901
原材料及び貯蔵品	375,612	416,473
繰延税金資産	112,176	85,703
その他	449,057	596,648
貸倒引当金	△21,363	△11,128
流動資産合計	11,460,432	13,740,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,039,185	6,043,905
減価償却累計額	△4,352,980	△4,446,729
建物及び構築物（純額）	1,686,205	1,597,176
機械装置及び運搬具	9,976,968	10,127,169
減価償却累計額	△9,152,846	△9,279,956
機械装置及び運搬具（純額）	824,122	847,213
土地	1,123,398	1,123,398
リース資産	35,916	53,277
減価償却累計額	△13,534	△20,507
リース資産（純額）	22,381	32,769
建設仮勘定	12,387	3,699
その他	753,669	761,872
減価償却累計額	△696,724	△701,289
その他（純額）	56,944	60,583
有形固定資産合計	3,725,439	3,664,840
無形固定資産		
電話加入権	15,691	15,691
リース資産	174,408	144,532
その他	236,968	199,113
無形固定資産合計	427,068	359,336
投資その他の資産		
投資有価証券	936,364	932,795
破産更生債権等	11,398	7,617
事業保険金	131,381	129,205
差入保証金	162,823	161,971
繰延税金資産	325,332	277,112
その他	226,380	220,967
貸倒引当金	△19,998	△16,582
投資その他の資産合計	1,773,682	1,713,087
固定資産合計	5,926,191	5,737,265
資産合計	17,386,624	19,477,505

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,373,909	8,770,463
短期借入金	2,402,322	2,415,490
リース債務	60,618	64,299
未払金	476,032	576,105
未払法人税等	49,495	2,524
未払消費税等	19,523	33,898
賞与引当金	231,479	120,071
災害損失引当金	970	160
設備関係支払手形	160,281	24,999
設備関係未払金	27,196	10,084
その他	178,718	260,875
流動負債合計	10,980,547	12,278,972
固定負債		
長期借入金	1,942,891	2,858,015
リース債務	75,949	51,378
長期設備関係未払金	790	197
退職給付引当金	627,756	666,182
役員退職慰労引当金	287,947	298,169
環境対策引当金	4,308	4,308
固定負債合計	2,939,644	3,878,252
負債合計	13,920,191	16,157,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374,755	1,374,755
資本剰余金	1,450,226	1,450,226
利益剰余金	943,888	818,350
自己株式	△241,800	△256,720
株主資本合計	3,527,069	3,386,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△50,107	△1,665
繰延ヘッジ損益	28,457	△5,226
為替換算調整勘定	△125,181	△139,448
その他の包括利益累計額合計	△146,831	△146,340
少数株主持分	86,194	80,009
純資産合計	3,466,432	3,320,280
負債純資産合計	17,386,624	19,477,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	26,048,364	26,009,678
売上原価	21,564,959	21,953,386
売上総利益	4,483,405	4,056,292
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,927,565	1,913,416
給料及び手当	1,192,148	1,177,825
賞与引当金繰入額	60,748	59,851
退職給付引当金繰入額	75,066	73,174
賃借料	142,613	140,217
旅費及び交通費	87,782	82,473
その他の経費	460,799	463,303
販売費及び一般管理費合計	3,946,721	3,910,262
営業利益	536,684	146,029
営業外収益		
受取利息	135	103
受取配当金	26,252	25,500
貸倒引当金戻入額	—	8,385
持分法による投資利益	15,389	16,151
為替差益	754	—
受取賃貸料	22,073	22,295
作業くず売却益	2,211	2,571
雑収入	10,845	19,439
営業外収益合計	77,659	94,447
営業外費用		
支払利息	91,945	84,324
為替差損	—	5,842
その他	21,988	19,512
営業外費用合計	113,933	109,679
経常利益	500,410	130,797
特別利益		
貸倒引当金戻入額	398	—
受取保険金	9,375	489
特別利益合計	9,773	489
特別損失		
前期損益修正損	363	—
固定資産除却損	14,443	169
投資有価証券評価損	—	84,632
特別損失合計	14,806	84,802
税金等調整前四半期純利益	495,377	46,484
法人税、住民税及び事業税	157,595	19,237
法人税等調整額	54,657	65,070
法人税等合計	212,253	84,307
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	283,124	△37,823
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,434	△4,943
四半期純利益又は四半期純損失(△)	280,690	△32,880

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	283,124	△37,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,440	48,441
繰延ヘッジ損益	△9,057	△33,683
為替換算調整勘定	△30,150	△9,140
持分法適用会社に対する持分相当額	851	△6,368
その他の包括利益合計	△72,797	△750
四半期包括利益	210,327	△38,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,357	△32,389
少数株主に係る四半期包括利益	△2,030	△6,184

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,841,051	9,668,175	6,539,138	26,048,364	—	26,048,364
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,841,051	9,668,175	6,539,138	26,048,364	—	26,048,364
セグメント利益	698,690	378,658	119,926	1,197,274	△660,590	536,684

(注) 1 セグメント利益の調整額△660,590千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,618,170	9,821,557	6,569,951	26,009,678	—	26,009,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,618,170	9,821,557	6,569,951	26,009,678	—	26,009,678
セグメント利益	490,426	204,500	120,030	814,956	△668,927	146,029

(注) 1 セグメント利益の調整額△668,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、その他の注記事項、個別情報等は四半期決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。